

(42) たらのき

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 立枯疫病 <i>Phytophthora cactorum</i>	1. 罹病根によって伝染するので、被害植物残さは完全に処分する。 2. 病土の移動によって伝染するので注意する。 3. 透水性の悪い圃場では排水対策を行う。 4. 除草や株整理などの管理作業の際に根を傷めないように注意する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. 若葉利用栽培の作型には農薬を使用しない。	収穫終了後(苗の場合は植付後)～梅雨期(発病前から)	4	リドミル粒剤 2
2 胴枯病	1. 樹勢を衰弱させないよう、栽培管理に注意する。 2. 病枝は切り取る。 3. 害虫防除に努める。	発芽前(発病前から)	UN	石灰硫黄合剤
3 そうか病 <i>Elsinoë araliae</i>	1. 初発葉を見つけたら速やかに除去する。	伏せ込み前(発病前から)	1 11	トップジンM水和剤 ストロビーフロアブル
4 芽枯症		伏せ込み後(発病前から)	1	トップジンM水和剤
		発病前から	1	ベンレート水和剤
5 センノカミキリ	1. 樹勢を衰弱させないよう、栽培管理に注意する。 2. 枯死株を処分する。 〈薬剤使用の特記事項〉 1. スミチオン乳剤はセンノカミキリ幼虫に登録がある。	3～5月 株養成期	1B	スミチオン乳剤
		成虫発生初期	4A -(生)	モスピラン顆粒水溶剤(生)バイオリサ・カミキリ
6 ハダニ類	1. 圃場及び周辺の雑草処理を徹底する。 2. 収穫残さは速やかに処分する。	発生初期	13	コテツフロアブル

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する